
[成果情報名] 促成栽培トマトにおけるトマト黄化葉巻病の媒介を防止する有効な薬剤防除体系

[要約] トマトの促成栽培において、トマト黄化葉巻病が感染しやすい育苗期から10月までの期間、粒剤処理と5日間隔での茎葉散布を組み合わせることで、高い発病抑制効果が得られる。

[キーワード] トマト黄化葉巻病、シルバーリーフコナジラミ、薬剤防除体系

[担当部署] 病害虫部・虫害チーム

[連絡先] 092-924-2938

[対象作物] 野菜

[専門項目] 病害虫

[成果分類] 新技術

[背景・ねらい]

本県の促成栽培トマトでは、平成11年からシルバーリーフコナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病が発生し、大きな被害をもたらしている。本病は媒介虫が低密度でも高率で発生するため、徹底した防除が不可欠である。

そこで、トマトに登録があり、トマト黄化葉巻病の媒介虫に対して効果が認められる粒剤と散布剤（平成15年度後期農業関係試験研究の成果）を組み合わせた防除体系を組み立て、発病抑制効果を現地圃場で実証する。

（要望機関名：病害虫防除所、(H13)）

[成果の内容・特徴]

1．トマトに登録があり、トマト黄化葉巻病に対する抑制効果がある粒剤および散布剤による防除体系を組み立てる（表1）。その際、以下の点を考慮する。

媒介虫の侵入を抑制するために、育苗期から防虫ネット（1mm目合い）をサイドに設置する。

苗の搬入から10月までの感染が最も成立しやすい時期の防除を徹底する。

育苗期と定植時に粒剤を処理し、5日間隔で散布剤を組み合わせる。

育苗初期には、効果の高いネオニコチノイド系散布剤を中心に組み立てる。

幼苗で薬害を生じるサンマイトフロアブルとハチハチ乳剤は育苗後期以降に使用する。

マルハナバチを導入する場合には、影響の少ない薬剤をマルハナバチ導入以降に使用する。

2．この防除体系により、トマト黄化葉巻病の発生は1/20以下に抑制される（表2）。

3．マルハナバチに影響の少ない薬剤を組み合わせることで、マルハナバチを使用する場合にも、トマト黄化葉巻病の発生を低く抑制できる（表2、農家A）

[成果の活用面・留意点]

1．現地でのトマト黄化葉巻病の防除対策に活用する。

2．定植時期が異なる場合でも、苗搬入から10月までの期間を対象に表1に準じて粒剤と散布剤で防除体系を組み立てる。

[具体的データ]

表1 トマト黄化葉巻病に対する防除体系（例）
9月下旬定植：マルハナバチを使用する場合

管理作業	月・栽培日数	散布剤	粒 剤	
防虫ネット設置 セル苗搬入・鉢上げ	9月	0	スタークル顆粒水溶剤	ベストガード粒剤
		+5	ダントツ水溶剤	
		+10	アドマイヤー水和剤	
		+15	サンマイトフロアブル	
		+20	チェス水和剤	
		+25	ハチハチ乳剤	
定 植	10月	+30	ベストガード水溶剤	チェス粒剤
		+35	サンマイトフロアブル	
マルハナバチ導入	10月	+40	モスピラン水溶剤	
		+45	チェス水和剤	
		+50	バリアード顆粒水和剤	
		+55	モスピラン水溶剤	
		+60	チェス水和剤	

9月下旬定植：マルハナバチを使用しない場合

管理作業	月・栽培日数	散布剤	粒 剤	
防虫ネット設置 セル苗搬入・鉢上げ	9月	0	マルハナバチを使用する場合と同じ	
		+5		
		+10		
		+15		
		+20		
		+25		
定 植	10月	+30	ベストガード水溶剤	ダントツ粒剤
		+35	サンマイトフロアブル	
	10月	+40	スタークル顆粒水溶剤	
		+45	ダントツ水和剤	
		+50	モスピラン水溶剤	
		+55	バリアード顆粒水和剤	
		+60	チェス水和剤	

表2 防除体系のトマト黄化葉巻病に対する効果

農 家	発病株数		栽 培 本 数	苗搬入 月 日	定 植 月 日	防 虫 ネ ッ ト		マルハナ バチ	
	H.14 慣行防除	H.15 体系防除				H.14	H.15	H.14	H.15
	A	>1000				50	11800	9/1・9/6	9/26・10/6
B	1200	10	10000	9/5	10/5	2mm	1mm	なし	なし
C	300	6	4800	9/12	10/10~11	なし	1mm	なし	なし
D	200	10	8000	9/5	10/5	1mm	1mm	なし	なし
E	100	5	5700	9/3	10/3	1mm	1mm	なし	なし

注) 平成15年12月15日に聞き取り調査した。

[その他]

研究課題名：環境に配慮したトマト黄化葉巻病の感染防止体系の確立
 予算区分：国庫助成（先端技術等地域実用化）
 研究期間：平成15年度（平成13～15年度）
 研究担当者：嶽本弘之、山村裕一郎